持ち帰り可

令和８年度　山口県立大学　別科助産専攻

一般選抜

入学試験「専門科目」問題

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

注意事項

1　解答は全て解答用紙に記入してください。

2　試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。

3　不正行為について
① 不正行為については厳正に対処します。
② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験をとりやめさせ退室させます。また、受験した全ての科目の成績を無効とします。

4　試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

令和８年度　山口県立大学　別科助産専攻
一般選抜　入学試験　「専門科目」

問題１　次の文章のうち正しいものには○を、誤っているものには×を記入しなさい。

１．看護職の倫理綱領における看護師の基本的責任には、疾病の回復がある。
２．世界保健機関〈WHO〉が定義する健康とは、肉体的、精神的及び社会的に満たされた状態である。
３．児童福祉法に定められている児童福祉施設には、助産施設がある。
４．ルービン〈Rubin, R.〉の母親への適応過程は、保持期→受容期→解放期の順で経過する。
５．悪阻で頻回に嘔吐すると、アシドーシスを生じやすい。
６．羊水量が少ない場合には、胎児の肺形成が阻害される。
７．こども家庭センター（旧 子育て世代包括支援センター）の役割は、妊娠期から子育て期にわたる支援を行うことである。
８．エジンバラ産後うつ病自己評価票は、20 項目の質問から構成され、9 点以上は産後うつ病疑いと判定する。
９．小児の呼吸法が、腹式呼吸から成人と同じ胸式呼吸に変化するのは生後 6 か月である。
10．ディベロップメンタルケアとは、正常新生児の成長・発育を促すケアのことを言う。

問題２　母体の感染症について（　　）内に適切な語句を記入しなさい。

１．母体に感染している病原体が、妊娠、分娩、授乳を通じて児へ感染することを垂直感染というが、垂直感染の感染ルートには主に（　①　）感染、（　②　）感染、（　③　）感染などがある。
２．ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症とヒト T 細胞白血病ウイルス（HTLV―1）感染症に共通する感染ルートは、（　④　）感染である。
３．B 型肝炎の感染ルートは（　⑤　）感染であり、B 型肝炎の母から生まれた児には、感染予防として生後、（　⑥　）および（　⑦　）を投与する。
４．風疹は母体が妊娠 12 週未満に感染すると、児が先天性風疹症候群を発症するリスクがあり、3 大症状として（　⑧　）、（　⑨　）、（　⑩　）が挙げられる。

問題３　以下は胎児付属物についての説明文である。（　　）内に適切な語句を記入しなさい。

１．卵膜は３層からなり、胎児側から（　①　）、（　②　）、（　③　）である。また、この中で母体由来の細胞を主体として構成されているのは（　④　）である。

２．臍帯は、弾力性のある索状組織で３本の血管が走っている。その内２本は（　⑤　）、１本は（　⑥　）である。

３．胎盤は、（　⑦　）などのタンパクホルモン、（　⑧　）・（　⑨　）などの性ステロイドホルモンを産生している。

問題４　日本における令和５年(2023年)の乳児死亡について正しいのはどれか選びなさい。

１．死因の第１位は乳幼児突然死症候群〈SIDS〉である。

２．乳児死亡数が1,500人を下回った。

３．早期新生児死亡は含まれない。

４．乳児死亡率は国際比較すると日本は高率である。

問題５　児童憲章について正しいのはどれか２つ選びなさい。

１．児童の権利に関する条約を受けて制定された。

２．保護者の責務を定めている。

３．児童がよい環境の中で育てられることを定めている。

４．違反すると罰則規定がある。

５．児童が人として尊ばれることを定めている。

問題６　医療の標準化を目的に活用されているのはどれか選びなさい。

１．コンサルテーション

２．エンパワメント

３．コーピング

４．クリニカルパス

問題７　フィンク, S. L. の危機モデルの過程で第３段階はどれか選びなさい。

１．衝撃

２．適応

３．防衛的退行

４．承認

問題８　マーサー, R. T. の母親役割獲得理論において、独自の母親役割を修正したり発達させたりする段階はどれか選びなさい。

１．予期的段階

２．形式的役割取り込み段階

３．非形式的役割形成段階

４．個人的アイデンティティの形成段階

問題９　親性について正しいのはどれか選びなさい。

１．個人として生涯にわたって発達する。

２．社会的な性役割を含んでいる。

３．子どもを持つ親でなければ獲得されない。

４．子どもが生まれると自然に獲得される。

問題 10　トキソプラズマ感染症で正しいのはどれか選びなさい。

１．トキソプラズマ感染症の病原体は細菌である。

２．感染した動物の生肉の摂取によって母体が感染する。

３．妊婦の尿検査で診断する。

４．出生時に症状がなければ先天感染は否定できる。

問題 14　ザイツ〈Seitz〉法について正しいのはどれか選びなさい。

1．胎児の頤部の位置が把握できる。

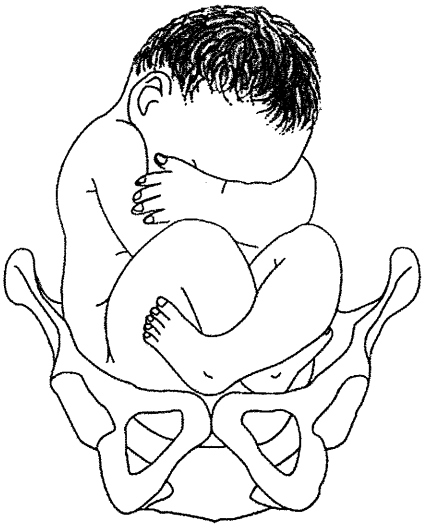
2．児頭の回旋異常を診断するための手技である。

3．骨盤内への児頭の進入の程度を判断する。

4．恥骨結合前面が児頭より高く触れる場合は陽性となる。

5．母体を側臥位にして腹壁上から触診する。

問題 15　骨盤と胎児を図に示す。
胎児の位置で正しいのはどれか選びなさい。



1．第 1 胎向

2．第 2 分類

3．単殿位

4．反屈位

5．斜位

問題 16　正期産において、陣痛発来前に経産婦よりも初産婦で生じやすいのはどれか選びなさい。

1．外子宮口の開大

2．子宮頸部の軟化

3．子宮頸管の展退

4．腹直筋の離開

5．外陰部の静脈瘤

問題 17　正常な胎児の分娩機転について正しいのはどれか選びなさい。

1．胎児の前頭部が先進する。

2．骨盤内嵌入時、胎児の背中は母体の背側にある。

3．胎児の顔は母体の背側を向いて娩出される。

4．肩甲横径が骨盤の横径に一致する方向で娩出される。

問題 18　Bさん（32 歳、経産婦）は、夫と長男（3 歳）との 3 人で暮らしている。
妊娠 40 週 3 日、午前 8 時にBさんは陣痛開始のため入院した。このときは未破水であった。午後 2 時、体温 36.8℃、脈拍 64/分、血圧 126/78mmHg であった。Bさんに分娩監視装置を装着したところ、陣痛間欠 3 分、胎児心拍数基線は 150bpm で、一過性徐脈はみられなかった。午後 3 時、破水感があり医師が診察したところ、子宮口は 9cm 開大であり、羊水の流出がみられた。
この時点でのBさんのアセスメントで適切なのはどれか選びなさい。

1．分娩第 1 期の潜伏期
2．早期破水
3．妊娠高血圧症候群
4．胎児頻脈

問題 19　22 歳の初産婦。陣痛発来のため入院した。出産準備教育を受けていない。
陣痛間欠 8 分、陣痛発作 30 秒。「これからお産がどうなっていくのか分からない。陣痛が怖くて、今後耐えられるか不安です」と訴えている。
産婦の話を傾聴した後、看護師の対応として最も適切なのはどれか選びなさい。

1．「痛くても大声を出さないようにしましょう」
2．「私たちに任せておけば大丈夫です」
3．「両親学級のテキストを渡すので読んでください」
4．「お産の進み具合や過ごし方を説明しましょう」

問題 20　25 歳の初産婦。妊娠 40 週 1 日、分娩所要時間 20 時間 30 分で体重 3,650g の女児を正常分娩した。分娩 2 時間後の観察時に「本当に痛くて大きな声で叫んでしまいました。二度とお産はしたくないです」と硬い表情で言った。
看護師の対応で最も適切なのはどれか選びなさい。

1．「次のお産は今回と同じにはなりませんよ」
2．「みんな大きな声を出すので気にしないでください」
3．「痛かったですよね。でも上手なお産でしたよ」
4．「赤ちゃんの顔を見たら気持ちが変わりますよ」

問題 21　羊水塞栓症の症状について正しくないものはどれか選びなさい。

1．突然の胸痛

2．チアノーゼ

3．痙攣

4．凝血を伴う弛緩出血

問題 22　36 週 4 日の妊婦健康診査時、胎児心拍消失により児を亡くした母へのグリーフケアで最も適切なのはどれか選びなさい。

1．児の話を母とすることは避ける。

2．母の悲嘆が軽減してからケアを開始する。

3．母が希望する場合は死後の処置を一緒に行う。

4．児を亡くした母のためのサポートグループへの参加を促す。

問題 23　Cさん（26 歳、経産婦）は、夫（30 歳）と長女（2 歳）の 3 人で暮らしている。妊娠 37 週 2 日、これまでの妊娠経過に異常はない。9 時に陣痛が開始し、10 時に夫に付き添われ入院した。入院時、陣痛間欠 9 分、陣痛発作 30 秒であった。内診所見は子宮口 2cm 開大で、少量の羊水の流出を認めた。羊水混濁はなかった。21 時 30 分に子宮口全開大、22 時 30 分に 3,200g の男児を正常分娩で出産した。会陰裂傷は第 2 度。23 時に胎盤娩出し、子宮底の位置は臍高で硬く触れた。児のアプガー〈Apgar〉スコアは 1 分後 8 点、5 分後 9 点。分娩 2 時間後、子宮底の位置は臍下 1 横指で硬く触れた。分娩時出血量 360mL。

経過は順調に進み、産褥 3 日。Cさんは母乳育児を希望している。Cさんの乳房の形は左右ともⅡa 型で、乳房は緊満している。両乳頭に損傷はない。左腋窩に副乳があり「腫れて痛い」と話す。本日の児の体重は 3,100g であった。

Cさんに対する看護師の援助で適切なのはどれか選びなさい。

1．左腋窩に冷罨法を行う。

2．乳房マッサージを行う。

3．3 時間ごとの授乳を勧める。

4．左乳房での授乳を中止する。

問題 24　Dさん（30 歳、初産婦、会社員）は、夫と 2 人暮らし。妊娠 38 週 6 日で 3,200g の児を正常分娩した。分娩後から母児同室を開始しており、母乳育児を希望している。産褥 4 日。Dさんは乳頭を児にうまくくわえさせられず「上手におっぱいがあげられない。退院してからも続けていけるか心配です」と言う。

Dさんの乳房からは移行乳の分泌がみられる。児の体重は 3,040g、排尿は 5 回/日、排便は 4 回/日である。

Dさんへの授乳時のアドバイスとして適切なのはどれか 2 つ選びなさい。

1．3 時間ごとに授乳させる。
2．児が前屈姿勢になるように支える。
3．児の舌の上に乳頭がのるようにくわえさせる。
4．児が啼泣している時に授乳させる。
5．児が大きく口を開けたタイミングで乳頭をくわえさせる。

問題 25　先天異常で正しいのはどれか選びなさい。

1．軟骨無形成症は低身長になる。
2．ターナー〈Turner〉症候群は高身長になる。
3．クラインフェルター〈Klinefelter〉症候群は低身長になる。
4．ピエール・ロバン〈Pierre Robin〉症候群は巨舌症がある。

次の文を読み、問題 26　問題 27　問題 28 に答えなさい。

在胎 37 週 6 日、骨盤位のため予定帝王切開術で出生した男児。看護師は、インファントラジアントウォーマー下で児の全身を観察した。羊水混濁はなかった。

身体所見：身長 49.0cm、体重 2,900g、頭囲 33.0cm、胸囲 32.0cm。直腸温 37.8℃、呼吸数 55/分、心拍数 150/分。大泉門は平坦、骨重積なし、産瘤なし、頭血腫なし。胎脂は腋窩にあり。筋緊張は強く、四肢は屈曲位。皮膚は厚い。うぶ毛は背中の 1/2 にあり。耳介は硬い。精巣は両側ともに完全に下降。外表奇形はなし。

検査所見：アプガー〈Apgar〉スコアは 1 分後 9 点、5 分後 10 点。

問題 26　出生後 2 時間。児のバイタルサインを確認したところ、直腸温 37.5℃、呼吸数 75/分、心拍数 160/分、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO2〉87%であった。心雑音はなし。鼻翼呼吸および呻吟がみられた。四肢末端にチアノーゼあり。

この児の状態で考えられるのはどれか選びなさい。

1．胎便吸引症候群〈MAS〉
2．呼吸窮迫症候群〈RDS〉
3．心室中隔欠損症〈VSD〉
4．新生児一過性多呼吸〈TTN〉

問題 27　問題 26 で考えられる状態の原因として正しいのはどれか選びなさい。

1．肺水の吸収遅延
2．化学性の肺炎
3．呼吸中枢の未熟性
4．肺表面活性物質の欠乏
5．胎児循環から新生児循環への移行不全

問題28　日齢7。児の体重は2,930g(前日より30g増加)。バイタルサインは、腋窩温37.0℃、呼吸数50/分、心拍数140/分。大泉門は平坦。排尿7回/日、排便10回/日の普通便である。経皮的黄疸計による測定値12.5mg/dL。児の母親は母乳育児を希望している。母乳分泌量は良好で乳房トラブルはない。直接授乳を1日12回しており、搾乳や人工乳は哺乳していない。母親は看護師に「体重は生まれたときから30gしか増えていませんが、大丈夫でしょうか」と話した。

母親への対応で最も適切なのはどれか選びなさい。

1．「乳房を温めましょう」
2．「哺乳量を測りましょう」
3．「搾乳も追加であげましょう」
4．「このまま直接授乳を続けて良いですよ」